

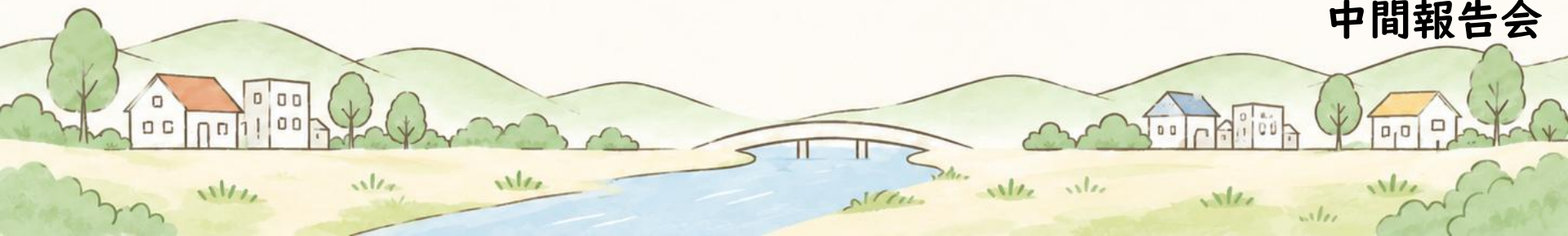


土地の記憶と防災を結びつける まち歩きプロジェクト

岡山大学 地域防災プロジェクトチーム

令和8年度 学生イノベーションチャレンジ推進プロジェクト

中間報告会



私たちの目標

“地域を知ることから始める防災教育”

防災グッズや避難訓練ではなく

- ・土地の成り立ち
- ・過去の災害
- ・災害のリスク など

人と自然環境の関係に注目し、もし災害が起
こったらどうなるのかを考え、備える

 **災害が起こったときの対応の手札を増やす**



災害の要素は地域によって形態や大きさに違いがあり、災害の被害規模も異なる

だから、災害の要素となる**地域の特徴を知り、災害を想定する必要がある**

これまでの活動

・防災すごろく

中学生と一緒に作成

遊びながら地域のことや、過去の災害について知る

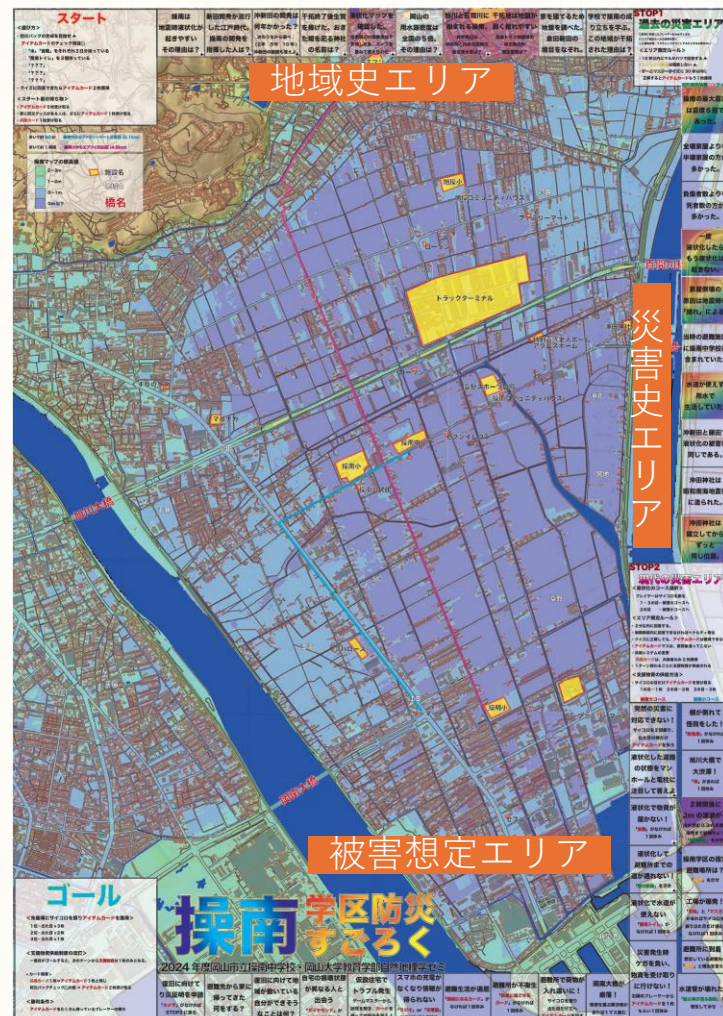
・まち歩き

大学生が企画・運営

地域の歴史から土地を考える

将来の災害と被害の

想定・判断力



今回の活動

地域の人とつくる“防災まち歩き”

まち歩きルートの計画主体を
大学生から地域の人へ

地域の人が持っている

地域史

と

土地勘

を生かしてまち歩きを計画



Ex) 用水路

土地勘

「なぜそこに用水路？」



地域史

「干拓地」

・昔の人はどう工夫しながら暮らしていたか



想定・判断力

どんな災害が想定されるか

災害時の不便さをどう乗り越えるか

この土地はどのような
につくられたか

まち歩きを通して…

- ①地域を知る
- ②地域のつながりをつくる
- ③地域で続けられる活動にする

➡ 地域のことから災害のことへ、世代を超えて伝えていく、地域に根付いた持続的な防災へ

現在の状況

ワークショップ1回目

(8月10日)

地域史と**土地勘**
の共有



ワークショップ2回目

(9月5日)

まち歩きルート作成



これからの見通し

- ・防災国体で発表（10月17日、18日）
- ・ワークショップ3回目（12月5日）
他グループと意見交流
- ・まち歩き本番（1月実施予定）
3つの小学校区ごとにまち歩きを実施予定
意識調査・効果検証
- ・まち歩き本番後（計画中）
まち歩きを活かした教材づくり
今回のプロジェクトを学会で研究発表